

# 令和7年度 特例の教育課程の実施状況報告

## 1. 学校・市町村概要 名護市立 瀬喜田小学校

・教育目標:・よく考え進んで学ぶ子 ・仲良く思いやりのある子 ・健康でたくましい子

・所在地 ● 沖縄県名護市幸喜4-1

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	4	3	5	2	8	12	4	38						38
学級数	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	2	6						6

○名護市概要【人口】65,215人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

## 2. 教育課程特例の取り組み・概要

### ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

## 3. 取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成・活用】

2年生は1学期から、1年生は2学期から、英語の学習を始めた。年間計画を基に、学習内容が含まれた音楽や絵本の読み聞かせを行い、学習内容の定着をめざした。また、外国の文化について触れ、その作品作りなどにも取り組んだ。

○授業の流れとして、英語のあいさつ(ALTが一人一人個別に)、TPRを取り入れた英語の音楽、英語の絵本の読み聞かせ、作品づくり・発表紹介で行っている。(帯として流れを実施)

○授業の中で、体をたくさん動かす「動の時間(ダンス・ゲーム等)」と静かに取り組む「静の時間(読み聞かせ・作品づくり)」を確保した。

○アルファベットの形に興味を示す児童が多くいたので、アルファベットの歌の動画を視聴したり、アルファベットの色塗りをしたりして、形に対して意識づけを行い、3年生から始まるアルファベット学習へと繋げている。

○外国語でのコミュニケーション能力の向上を目指し、できる範囲での外国人の方々との交流会の実施に取り組んだ。また、外国の文化への理解ができるよう支援した。

## 4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

成果:英語を楽しく取り組む児童が低学年ではとても多い。また、英語以外の言語にも興味を示し話したいと感じる児童が多かった。

少人数での授業の実施であったので、ALTとの距離も近く、子どもたちが緊張することなくコミュニケーションを取ろうとしていた。

外国人との交流では、言語でのコミュニケーションができなくても、非言語でコミュニケーションを取ろうとする態度が見られた。

課題:1・2年合同の授業の実施となるため、2年生は学習内容が重複することもあった。複式学級での難しさを感じた。